

オニバス	<i>Euryale ferox</i> Salisb.	絶滅危惧Ⅰ類
(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)		スイレン科
選定理由	過去から減少の一途をたどり、現在は極めて少なくなっている。	写真(高橋弘(葉)福岡義洋(花))
形態の特徴	浮葉は初期につくられるものは長楕円形で基部が切れ込むが、後につくられるものは円形で楕形になる。葉の両面脈上に棘が出る。閉鎖花は水中、開放化は水上につくられる。花茎と萼の外側に棘がある。萼は緑褐色、合着して筒になり、裂片は4枚で宿存する。花弁は紫色。	
生態的特徴	水深の浅い池に生育する。花期は6-8月。	
分布状況	日本からインドまで分布し、日本では東北地方南部から九州までみられる。岐阜県では美濃地方の中部と西部の南端に分布する。	
減少要因	池の埋め立てと水質悪化。	
保全対策	生育する池の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責:高橋弘